

「東京国立博物館等の施設管理・運営業務」事業の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

東京国立博物館等（東京国立博物館（黒田記念館及び柳瀬荘を含む）及び東京文化財研究所）の施設管理・運営業務（① 関係業務統括業務、②特別高圧受変電設備等保守点検業務、③エレベーター設備等保全業務、④空調自動制御機器等保全業務、⑤冷凍設備等保全業務、⑥ビル環境衛生管理業務、⑦構内樹木等維持管理業務）

契約期間：平成24年4月1日～平成27年3月31日までの3年間

2. 実施状況に関する評価

○ 包括的な質及び個別的な質として設定された以下の項目すべてが達成。

（1）包括的な質

ア 展示場の温度・湿度・照明の照度

文化財の保護上支障のない環境、良好な観覧環境が常に維持されていること。

- ・ 温度 $23^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $55\% \pm 5\%$
- ・ 照度は来観者の安全確保される明るさ

イ 収蔵庫の温度・湿度

文化財の保護上支障のない環境が常に維持されること。

- ・ 温度 $23^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $55\% \pm 5\%$

ウ 博物館等の一時閉館や開館不能の状態を招くような重要な業務上の瑕疵

- ・ 当該事態が一度も発生しないこと

（2）個別的な質

植栽管理業務

「視覚的、衛生的に適切な植栽管理がなされていること」に対するアンケートによる観客の不満足度が5%以下であること。

○ 民間事業者からの改善提案に基づき、予防保全を重視したきめ細かな設備機器の運転・維持による快適な展示・保存環境を維持、空調・熱源設備を中心とした効率良い運転台数調整や外気取り入れ量の調節、統括責任者の事前確認等の提言によるトラブル回避、危険防止のための枝剪定や刈り込みが必要な箇所等の積極的な提案と作業の実施等民間事業者の創意工夫が発揮された。

3. 実施経費に関する評価

実施経費（契約金額（534,450千円）の平成24年度及び平成25年度平均額から特殊要因を差し引いた額は、134,847千円であり、民間競争入札前の従来の実施に要した経費135,866千円（平成20年度実績））に比べ1,019千円（0.7%）の経費が削減。

4. 今後の事業

本事業は、実施状況が良好であり、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1.（1）の基準を満たしているため、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

以上